



海上保安庁

令和2年6月30日

西之島の噴火について（6月29日観測）

1. 噴火の状況

6月29日午後、第三管区海上保安本部羽田航空基地所属航空機により、西之島の火山活動の観測を実施し、中央火口が南西方向に広がっているなど、活発な活動を確認しました。

詳細は以下のとおりです。

【調査結果】

- ・噴火 中央火口から連続した噴火が認められる。
黒色の噴煙が激しく噴出し、高度3,400m以上に達している。
噴石の飛散は中央火口丘の麓までで収まっている。
- ・溶岩 中央火口が南西方向に広がり、火口から溶岩が南西岸方向に流下し、海へ流入しており、溶岩流の先端から水蒸気が認められる。
- ・変色水 西之島全周に、幅1,000m以上の黄緑色の変色水が分布している。

2. 航行警報

引き続き西之島の半径1.4海里以内を警戒範囲として、付近航行船舶に注意を呼びかけています。

また、2月4日に変色水が確認された西之島の南方5海里付近についても、引き続き付近航行船舶に注意を呼びかけています。

3. その他

当庁が実施した調査結果は、随時、海上保安庁海洋情報部HPの「海域火山データベース」にて公開しています。

Web アドレス：<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>



図1 調査結果の概略図（基図：海図W1356「西之島」令和元年5月刊行）



図2 西之島全景 黒色の噴煙が激しく噴出し、高度3,400m以上に達している。



図3 中央火口が南西方向に広がっている。



図4 溶岩が南西岸から海に流入。

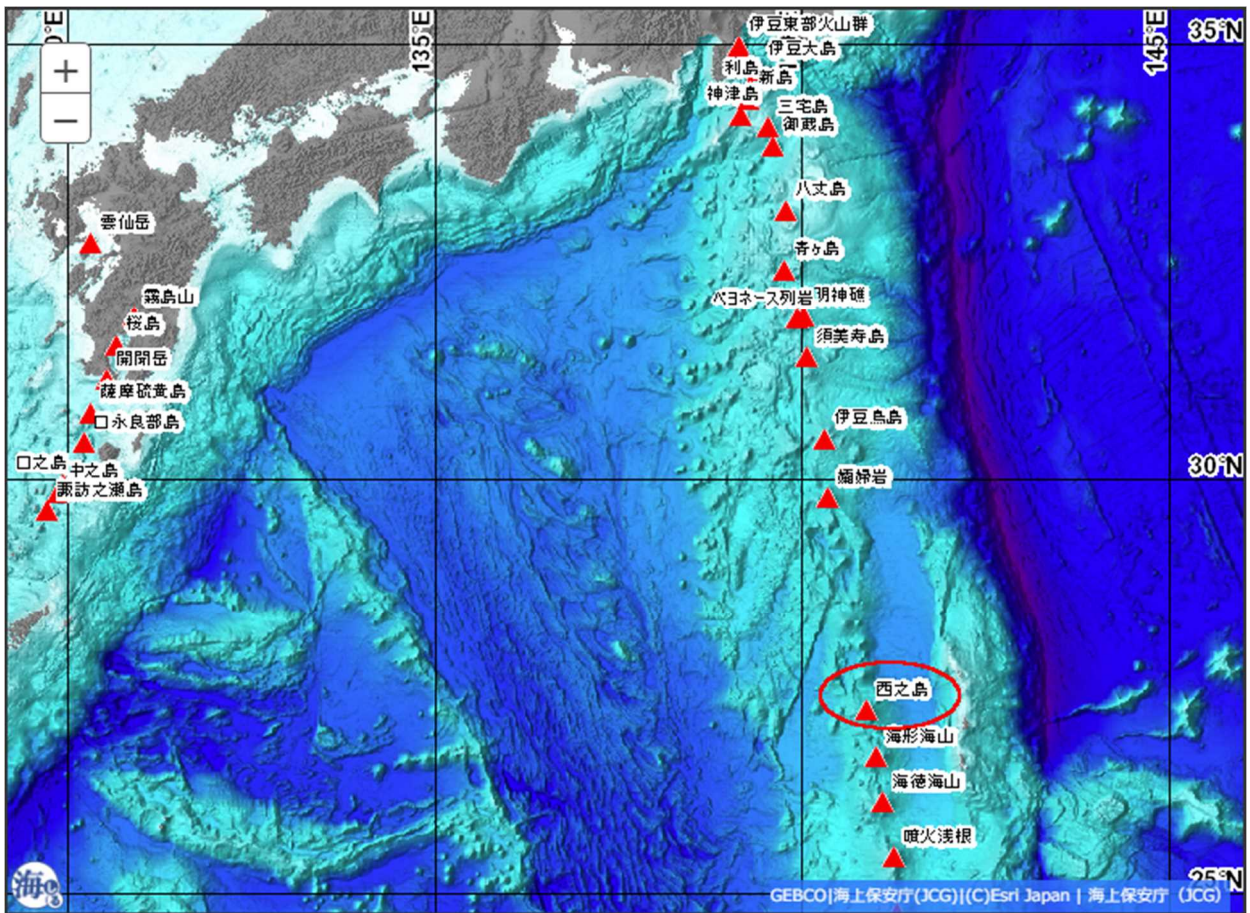


図5 西之島の位置

出典：海洋状況表示システム

Web アドレス：<https://www.msil.go.jp/msil/htm/main.html>